



Q：糖尿病が心配です（47歳・会社員）

A：糖尿病は、初期の段階では自覚症状がないか、あっても気付かず、健康診断などで初めて指摘される人が多いです。さらに、血糖値の上昇を指摘されても、自覚症状がないため放置し、危険な合併症が起こってから来院する人も目立ちます。

糖尿病の真の恐ろしさは合併症にあります。進行すると、失明（糖尿病網膜症）、透析（糖尿病腎症）、動脈硬化による心筋梗塞や脳梗塞などの危険があります。また、壊疽（えきそ）といって、指先が腐り、切断せざるを得ないこともあります。

す。重要なのは早期発見・早期治療。心配な人は検査を受けましょう。

自覚症状として気を付けてほしいのが「喉の渇き」。水分を多く取るようになり、尿の回数・量が増えます。血糖値が高くなると、血液の浸透圧が上がリ、体が水分を欲しがります。飲水過多、尿糖増加による浸透圧利尿で、大量の尿が出るのです。トイレの回数が増え、尿から甘酸っぱいにおいがするなら要注意。

その他、体がだるく疲れやすい、足がつる、食欲はあるのに痩せてきた、皮膚が化膿（かのみ）しやすい、膀胱炎（ぼうこうえん）など感染症にかかりやすくなる、性欲の低下（インポテンス）などがあります。

（岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F）

☎055・288・1801